

令和7年度大学入学共通テスト

試作問題「英語」の概要

- 「令和7年度大学入学共通テストの出題教科・科目の問題作成方針に関する検討の方向性」の『英語』の問題作成方針の検討の方向性」にあるとおり、共通テスト『英語』は、「リーディング」形式と「リスニング」形式の試験問題を通して、文字や音声による試験の特徴を生かしながら、以下のように可能な限り総合的な英語力を評価する。
 - ・ コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解する力を引き続き重視する。
 - ・ 併せて、高等学校において、英語を「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]・[発表]」、「書くこと」を統合した言語活動の充実が図られていることを踏まえ、情報や自分の考えを適切に表現したり伝え合ったりするために、理解した情報や考えを整理したり、何をどのように取り上げるかなどを判断したりする力を重視する。
 - ・ また、コミュニケーションを支える基盤となる音声、語彙、表現、文法等に関する知識や技能についても、上記の力を評価することを通して引き続き評価する。
- 上記のうち2点目の「情報や自分の考えを適切に表現したり伝え合ったりするために、理解した情報や考えを整理したり、何をどのように取り上げるかなどを判断したりする力を重視する」ための問題作成の工夫としては、例えば、論理の構成や展開を工夫して意見や主張などを話したり、文章に書いたりする言語活動を行う場面設定の問題を出題することが考えられる。
- 今回、そのような工夫の具体例を示すために、次の3問の試作問題を作成した。

『英語』第A問（リーディング）

「授業中における生徒のスマートフォン使用の是非」というテーマで自分の意見を述べる文章を書く場面を取り上げている。Step1では、スマートフォン使用に関する5者（教師、心理学者、保護者、高校生、校長）の意見を読んで、それぞれの意見とその根拠を理解して整理することができるかを問う。Step2、Step3では、スマートフォン使用は禁止すべきという立場に立って文章を書くための準備として、自分の意見の理由や根拠を明確に示すために複数の資料を活用したり、書こうとする文章のアウトラインを組み立てたりすることができるかを問う。

『英語』第B問（リーディング）

「英語」の授業で「環境に配慮したファッション（サステナブルファッション）」をテーマとして文章を作成する過程で、自分が書いた原稿に対する教師のコメントを踏まえて推敲するという場面を取り上げている。読み手に分かりやすいように、文章の論理の構成や展開に配慮して文章を修正することができるかを問う。

『英語』第C問（リスニング）

「幸福観」に関する大学の講義を聞き、その後、学生同士が講義内容を伝え合ったり、その講義内容や自分たちが調べてきたことを踏まえてディスカッションをしたりする場面を取り上げている。「聞くこと」と「話すこと [やり取り]・[発表]」の統合的な言語活動により、学んだ内容の理解をより深めるような学習の過程を設定した問題である。各設問では、こうした学習の過程で求められる力、例えば、講義を聞いて概要・要点を把握する力、聴き取った情報を他者と共有したり、話し合ったりする力、聴き取った情報と問題文中に示されたグラフ資料を統合的に処理する力等を問う。

なお、本試作問題は、令和3年度大学入学共通テスト本試験（1月16日実施）の『英語（リスニング）』の問題を基に、平成30年告示高等学校学習指導要領において強調されている、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと [やり取り]・[発表]」、「書くこと」の複数の領域を統合した言語活動をより意識した問題となるよう、再構築したものである。